

令和2年度 学校評価

1. 生徒集計(12/11)
2. 保護者集計(12/23～1/18)
3. 寮集計(1/18)
4. 職員集計(12/7～12/21)
5. 運営協議委員集計(2/17～2/26)

令和2年度 学校評価(生徒用)集計

- ・実施日:令和2年12月11日(金) 6校時
- ・在籍:57名(欠席1名) 1年次 17名(欠席1名) 2年次 18名(欠席0名) 3年次 22名(欠席0名)
- ・回答方法:4段階評価(A:十分 B:おおむね C:不十分 D:まったく 空白:わからない)
- ・評価方法:Aを4ポイント、Bを3ポイント、Cを2ポイント、Dを1ポイントとして計算する

昨年よりプラス評価の項目

1. 学校生活全般について

- (1) 挨拶や礼儀ができた
- (2) 正しい言葉遣いができた
- (3) 化粧や装飾品等をせず身だしなみを守ることができた
- (4) 正しい服装・頭髪で生活できた
- (5) 規則正しい生活習慣が身についた
- (6) クールビズの導入は効果的であった
- (7) 学校の物を大切にすることができた
- (8) 仲間と良好な関係を作ることができた
- (9) 学校のルールを守ることができた
- (10) 清掃活動に意欲的に参加した
- (11) 個人面談の時期及び回数は適切であった
- (12) 先生は自分の個性を認めて指導してくれていると感じる
- (13) 地域の方々に迷惑をかけずに行動できた
- (14) 普段から交通安全を意識した生活を送ることができた

	A	B	C	D	無回答	R2 平均	R1 平均
全員	31	21	2	2	0	3.45	3.37
全員	18	33	4	1	0	3.21	3.10
全員	42	10	3	1	0	3.66	3.64
全員	36	16	4	0	0	3.57	3.47
全員	28	21	6	1	0	3.36	3.48
全員	44	10	2	0	0	3.75	3.79
全員	43	11	2	0	0	3.73	3.87
全員	32	17	5	2	0	3.41	3.46
全員	36	17	2	1	0	3.57	3.64
全員	33	20	3	0	0	3.54	3.46
全員	39	15	2	0	0	3.66	3.58
全員	29	22	4	1	0	3.41	3.43
全員	41	13	2	0	0	3.70	3.79
全員	44	9	2	1	0	3.71	3.71

2. 学校活動について

- (1) 学校内においてそれぞれの役割を持ち活動ができた
- (2) 剣友会行事や農業クラブ行事に意欲的に参加することができた
- (3) 委員会活動に積極的に取り組むことができた
- (4) 行事を通してクラスの団結力を身につけることができた
- (5) 地域との交流を行うことができた

	A	B	C	D	無回答	R2 平均	R1 平均
全員	36	17	2	1	0	3.57	3.61
全員	28	19	9	0	0	3.34	3.24
全員	29	20	7	0	0	3.39	3.28
全員	33	18	4	1	0	3.48	3.42
全員	15	17	17	7	0	2.71	3.24

3. 学習全般について

- (1) 目標を持って学習に取り組み、学習内容を身につけることができた
- (2) 基礎基本の学力向上に力を入れて取り組むことができた
- (3) 授業準備をしっかり行い、正しい態度で授業にのぞめた
- (4) 緊張感を持って授業や講習・補習に取り組んだ
- (5) 必要に応じて先生が2人授業につくことは効果的であった
- (6) 資格取得への取り組みを積極的に行えた
- (7) 様々な活動で図書室が有効に活用されていた
- (8) 視聴覚の機材が有効的に活用されている
- (9) コンピュータ室の使用法を守ることができた
- (10) 剣高だよりを読んでいる
- (11) 学校HPを見たことがある

	A	B	C	D	無回答	R2 平均	R1 平均
全員	19	33	4	0	0	3.27	3.15
全員	20	31	5	0	0	3.27	3.10
全員	21	29	6	0	0	3.27	3.25
全員	17	32	7	0	0	3.18	3.18
全員	30	20	5	1	0	3.41	3.28
全員	25	24	7	0	0	3.32	3.01
全員	16	18	18	4	0	2.82	2.79
全員	21	27	7	1	0	3.21	3.06
全員	41	12	3	0	0	3.68	3.78
全員	13	17	17	9	0	2.61	2.42
全員	30	15	7	4	0	3.27	3.18

4. 専門学習について

		A	B	C	D	無回答	R2 平均	R1 平均
(1) 課題を見つけて積極的に農業や福祉の学習活動に取り組んだ	全員	29	22	5	0	0	3.43	3.56
(2) 進路を見据えた学習を行うことができた	全員	28	19	6	3	0	3.29	3.26
(3) 安全に実習ができた	全員	41	13	2	0	0	3.70	3.75
(4) 授業ごとに農場施設や設備の整理整頓を行った	全員	32	16	6	2	0	3.39	3.56
(5) 命の尊さ、心のふれあいの大切さを学ぶことができた	全員	38	15	2	1	0	3.61	3.65
(6) 収穫等を通して農業の魅力がわかった	全員	33	9	4	10	0	3.16	3.46
(7) 実習生産物を大切にすることができた	全員	29	15	3	9	0	3.14	3.46
(8) 本校の農場で「癒し」を感じるところがあった	全員	20	22	3	11	0	2.91	2.87
(9) 実習を通して地域のことを学習できた	全員	21	24	6	5	0	3.09	3.50
(10) 地域交流・ボランティアに積極的に参加できた	全員	17	17	13	9	0	2.75	3.12
(11) 産業社会と人間の体験学習や2・3年次の委託実習は充実していた	全員	25	21	9	1	0	3.25	3.66
(12) 農業の授業を通して農業の基本が身についた	農業	17	14	4	2	19	3.24	3.55
(13) 生産・加工・流通の一連の流れが理解できた	農業	10	15	7	4	20	2.86	3.41
(14) 「食育」に関する学習活動に意欲的に取り組むことができた	農業	14	13	4	4	21	3.06	3.41
(15) 自分で課題を見つけ意欲的にプロジェクト活動に取り組めた	農業	13	12	5	5	21	2.94	3.15
(16) 草花を活用した環境づくりができた	農業	14	11	5	5	21	2.97	3.15
(17) アンテナショップを活用することができた	農業	8	10	8	8	22	2.53	2.49
(18) 農業に関する資格を取得することができた	農業	11	9	4	11	21	2.57	2.97
(19) 介護における基礎的な内容を理解することができた	福祉	17	11	7	2	19	3.16	3.73
(20) 実技を通して介護技術を身につけることができた	福祉	19	9	6	2	20	3.25	3.81
(21) 福祉の授業を通してコミュニケーション能力を高めることができた	福祉	16	12	7	1	20	3.19	3.52
(22) 福祉の授業を通して、自主的に行動できるようになった。	福祉	17	14	4	2	19	3.24	3.38
(23) 福祉の授業を通して思いやりの心を学んだ	福祉	20	11	5	1	19	3.35	3.81
(24) 心のふれあいの大切さを理解することができた	福祉	19	12	4	2	19	3.30	3.80
(25) 介護福祉士国家試験合格を目指して意欲的に学習に取り組んだ	福祉	13	9	5	6	23	2.88	3.33
(26) 介護職員初任者研修やガイドヘルパーの講習に積極的に参加した	福祉	16	6	4	7	23	2.94	3.14
(27) 基礎を理解して応用問題を解くことができた	福祉	9	16	5	5	21	2.83	3.26
(28) 介護福祉士を目指すための授業環境を整えることができた	福祉	13	13	4	4	22	3.03	3.56
(29) 模擬試験の実施は適切で効果的である	福祉	17	6	2	8	23	2.97	3.29
(30) 長期休業中の講習会は適切で効果的である	福祉						####	3.00
(31) 施設実習を通してコミュニケーション能力を高めることができた	福祉	17	7	3	8	21	2.94	3.68
(32) 施設実習を通して進路について考える機会となった	福祉	14	8	3	8	23	2.85	3.68
(33) 日誌の記録・記述方法を身につけることができた	福祉	17	10	9	1	19	3.16	3.63
(34) 宿題や小テスト実施による家庭学習習慣が定着した	福祉	10	10	8	4	24	2.81	2.82
(35) 国家試験に向けて計画的に学習に取り組んだ	福祉	8	13	4	9	2	2.59	3.00
(36) 視聴覚教材を活用していた	福祉	11	14	3	7	21	2.83	2.57
(37) 放課後講習は適切で効果的である	3年福祉	5	3	1	0	0	3.44	3.30

5. 進路について

		A	B	C	D	無回答	R2 平均	R1 平均
(1) 卒業生進路講話は充実していた	3年						####	3.19
(2) 計画的に進路活動を行った	3年	14	6	2	0	0	3.55	3.52
(3) 進学・就職説明会や体験入学などに積極的に参加できた	全員	20	14	8	14	0	2.71	2.80
(4) 総合的な学習(探究)の時間を活用した進路活動が展開されている	全員	19	24	4	9	0	2.95	2.92
(5) 個人面談が進路を考えるきっかけとなった	全員	23	16	11	6	0	3.00	2.82
(6) 進路活動を通して、自分の適性や性格を知ることができた	全員	17	27	9	3	0	3.04	3.17
(7) 進路に関する情報を得るために意欲的に活動した	全員	17	25	9	5	0	2.96	3.20
(8) 進路に関する掲示物が充実している	全員	19	19	12	6	0	2.91	2.91
(9) 「面接指導カード」を用いて面接練習を行ったことは効果的であった	3年	12	6	2	2	0	3.27	3.07
(10) 多くの先生が面接指導に協力してくれた	3年	17	1	0	4	0	3.41	3.37

令和2年度 北海道剣淵高等学校の教育に関するアンケート 保護者集計

P-1

実施期間：令和2年12月23日（水）～令和3年1月18日（月）
 対象：全年次保護者 回答：21世帯 回収率：27%
 回答方法：4段階評価（A：十分 B：おおむね C：不十分 D：まったく 空白：わからない）
 評価方法：Aを4ポイント、Bを3ポイント、Cを2ポイント、Dを1ポイントとして計算する

1. お子様の学習について

- (1) 学習内容が身についている
- (2) 家庭学習の習慣が身についている
- (3) 自分の進路に関して計画的に目標を持って取り組んでいる

	A	B	C	D	無回答	平均
(1)	8	22	3	2	0	3.03
(2)	4	17	12	2	0	2.66
(3)	11	15	6	1	2	3.09

2. 本校の取り組みについて

- (1) 基礎基本の学力向上に力を入れている
- (2) 生徒への学習支援がなされている
- (3) 剣高だよりやホームページは学校活動を理解するのに有効である
- (4) 先生方は細やかな生活指導を行っている
- (5) 学校と家庭との連携が効果的になされている
- (6) 農業・福祉の専門教育が充実しており、子ども達の将来にとってとても有意義である
- (7) 委託実習は有意義である
- (8) 資格取得に関する指導が充実している
- (9) 学校行事などで、地域連携が盛んに行われ、それが教育活動によい結果を与えている
- (10) 剣友会（生徒会・農業クラブ）活動が盛んである
- (11) 各部活動が意欲的に行われている
- (12) 職業説明会や講演会など1年次生から系統立てた進路指導が展開されている
- (13) 進路に関する情報の提供など進路指導が充実している
- (14) 学校の施設設備が適切に活用されている

	A	B	C	D	無回答	平均
(1)	8	19	6	0	2	3.06
(2)	13	18	2	1	1	3.26
(3)	17	15	1	1	1	3.41
(4)	15	17	1	0	2	3.42
(5)	12	14	7	0	2	3.15
(6)	21	12	0	0	2	3.64
(7)	20	10	1	0	4	3.61
(8)	22	10	2	0	1	3.59
(9)	14	16	2	0	3	3.38
(10)	10	20	2	0	3	3.25
(11)	6	22	5	0	2	3.03
(12)	13	17	2	0	3	3.34
(13)	11	17	4	0	3	3.22
(14)	13	14	2	0	6	3.38

令和2年度 学校評価＜職員用集計＞

評価	評価項目	評価	各評価項目についての意見
教育目標	1 自ら学ぶ意欲を育み積極的に行動する力を育てることができていたか	2.93	
	2 責任感を養い、互いに助け合う心を育てることができていたか	2.92	
	3 心身を鍛え明るく豊かな人間性を育てることができていたか	3.07	
	4 勤労を尊び、郷土の発展につくす態度を育てることができていたか	2.93	・剣淵町内の話題を取り入れた授業展開ができていないため
	5 教育目標が各分掌の目標の基になり実践することができていたか	2.79	
教務	1 各教科・科目を中心とした学習意欲・基礎学力向上の促進ができていたか	3.00	・生徒の理解度を考えワークシートやグループワークの活用を行った。
	2 授業規律の確立と学習習慣の定着ができていたか	3.00	・必ずブレザーを着用しての挨拶の実施。週末課題の作成と実施を行った。 ・教務部として実際に働きかけるような取り組みを行った方がよい。
	3 シラバスの改訂と系列選択・科目選択への活用ができていたか	2.83	・福祉と農業を選択する際に、「こっちが嫌だからこっちにした。」という生徒もあり、授業が始まってからのやる気や積極性の違いがある。
	4 各観点を意識した評価問題を作成したか	2.92	・生徒にも直接説明できるように、細かく評価できるように心がけている。
	5 各年次・分掌・教科との連携による時間割の弾力的な運用ができていたか	3.00	
	6 週ごとの時間割作成による授業時数の確保と普通教科と専門教科の均衡は保持されていたか	2.77	・裏表の授業があったり、福祉は教科担当が変動したりする関係上、ウエイトが・・・
	7 資格取得状況と部活動大会結果の管理はできていたか	2.69	・すみません。バド部至急入れます。
	8 校内研修の精選と実態に即した研修テーマの検討ができていたか	3.00	・機会はあったが各回の時間が短いと感じた。
	9 公開授業の実施及び合評会は活性化していたか	2.17	・本年度は、コロナ渦のため、公開授業の設定ができていない。 ・コロナの影響で地域参観日が中止されたこともあったが、校内においても今年度その機会がなかったことは残念です。
	10 会議・研修へ参加した際の資料の回覧・報告はできていたか	3.58	
	11 図書環境の整備と読書の推進はできていたか	2.92	・図書館利用者が少なく、利用者も一定である。図書室の見やすさが必要だと考える。不要図書の処理。冬休み及び春休みに文化委員で実施予定。 ・読書習慣の確立のために学校全体で何か働きかけの機会を用意したい。
	12 委員会活動と連携した図書館の利用推進はできていたか	2.67	・月水金の放課後開放だけでは、部活動の時間とも重なっている為、利用者を増やすことができない。
	13 視聴覚機器の整備と更新はできていたか	2.55	・ワイヤレスマイクの更新を要望、プロジェクタの使える教室の確保
	14 情報処理機器の整備と管理はできていたか	3.18	
	15 剣高だよりの作成と地域への定期的な情報発信の継続ができていたか	3.27	
	16 中学校及び保護者に対しての学校理解の促進と入学者の確保ができていたか	3.18	
	17 HP・ブログ内容の精選と定期的な更新ができていたか	3.36	・ブログの更新をもっと行いたい。協力したいのですが、あまりできずに申し訳ない。

生徒指導	1	教員の共通理解のもとで学校生活の規律を指導することができていたか	3.00	・下校時や職員入室時のブレザー着用に関して教員間で指導の基準や対応が統一されていないように感じています。改めて確認したいです。
	2	校外生活における規律遵守の指導を行っていたか	3.00	
	3	指導対象者の指導を計画的に行っていたか	3.36	
	4	多様な価値観を認めて行動できる生徒の育成ができていたか	3.15	
	5	教育相談、個別面談は充実していたか	3.46	・放課後の時間を活用して、雑談から話をするようにしている。
	6	PTA活動、地域交流を通じた生徒指導の充実化を図っていたか	2.58	
	7	関係諸機関と連携した生徒指導の充実がはかれていたか	2.75	・外部講師と講演内容の打ち合わせを密にしておくべきと思います
進路指導	1	進路行事等の企画・実施と各関係機関との連携ができていたか	3.00	・コロナ渦の中での連携方法の構築が必要と感じている。
	2	進学説明会・就職促進会等への参加促進と効果的な事後指導の実施ができていたか	2.64	・進学説明会は1回、参加者7名良好。事後指導の充実を高める。
	3	進路に関する資料の提示を通して進路意識の高揚をはかれていたか	2.83	・担当として、資料の分類が追いつかず、進路選択の時期に間に合わなかった。
	4	定期的な進路指導の実施ができたか	3.00	
	5	進路を見据えた系列選択の指導及び効果的な進路指導の実施ができていたか	3.00	
	6	担任と連携した進路指導の展開ができていたか	3.33	・3年次の進路活動について、スムーズに行えた。
	7	生徒情報の共有化と、継続的な指導の展開ができていたか	3.17	・授業の雰囲気、生徒の状況を伝え、授業の展開を考えられるようにしている
	8	生徒が進路を見据え、目標を持った学校生活を送るための支援ができていたか	3.17	・実習先の選択と就職を関連させる
	9	個々に応じた基礎学力の定着に向け、教科担との連携や模試の実施を行ったか	2.92	・月1もしくは2か月に1回、模試を実施し、その都度クラス分けを行い進度にあった内容の授業ができるようにした。 ・基礎学力向上に向けて何らかの対応が必要だと思われる。
	10	進路情報の把握と生徒への提供ができていたか	3.17	・進路希望調査と個人面談を利用して、情報を収集できた。 ・どの範囲まで求人票をファイリングするのか曖昧。
	11	卒業生の状況確認と効果的な進路指導の実施ができていたか	2.83	一覧に少しずつ記入できている。継続する。
農場部	1	新教育課程実施年度にあたり、新しく導入された科目の研修を深め、特色ある農業教育の推進に努めていたか	3.25	
	2	科目間・部門間の連携の充実を図り、フードシステムの確立に努めていたか	3.29	
	3	日本農業技術検定3級合格100%を目指し、各科目内での継続した学習指導を実施できていたか（昨年度63.6%）	3.14	
	4	専門学習・委託実習を通して、農業経営者及び関連する産業人としての知識・技術の向上に努めていたか	2.88	
	5	計画的な事前指導、事後指導を実施し、充実した実習となるよう努めていたか	2.75	
	6	実習先との連携・情報共有を図り、円滑な実習展開に努めていたか	2.67	・断りの電話連絡はできた。
	7	プロジェクト計画段階から、発表時の分野を意識した取り組みを行い、記録の充実を図っていたか	3.50	

農場部	8	大学・関係機関などとの連携を積極的に行い、地域に根ざした専門学習となるよう充実を図れていたか	3.38	
	9	各分会での活動状況の共有を図り、全体が充実した活動になるように努めていたか	3.38	
	10	水稲部門では、特別栽培を継続し、付加価値を高める栽培方法を実践できていたか	3.50	
	11	畑作では、新たな作物を導入し、地域で栽培可能かを検討できたか	3.17	
	12	野菜部門では、安定生産を努めるとともに、冬期間中の栽培を実践できたか	3.50	
	13	加工部門では、定期的な製造に努め、新たな商品の開発を模索できたか	3.67	
	14	草花部門では、環境負荷低減の取り組みを継続しながら、地域環境作りに貢献できる花作りを行えたか	3.00	
	15	定期的に販売会を実施するとともに、地域のイベントに積極的に参加し、販売実習の機会確保と生産物収入の増加（目標450万円）を達成できたか	3.17	
	16	農場内の環境整備・整理整頓に努めるとともに、掲示教育にも力を入れ、開かれた学校農場となっていたか	3.43	
	17	実習における安全には十分に配慮し、事故が起らないよう指導に努めることができていたか	3.14	
	18	地域の先進農家を手本とした、担い手育成・営農学習指導の実践に努めることができたか	2.83	
	福祉部	19	地域の販売会などに積極的に参加し、地域に開かれた学校の推進に努めることができたか	2.71
20		農業を活用したヒューマンサービスについての実践力を育て、地域社会の発展に努めることができたか	2.83	
1		自己理解を深め、介護福祉士に必要な円滑な対人関係を図るためコミュニケーション能力を育てることができたか	3.00	・新型コロナウイルスの関係でグループワークは少なく、人と話することができる環境をつくることができなかった。
2		介護サービスの質の向上に必要な社会福祉制度の基本的な理解の定着を図ることができていたか	3.00	
3		個人の尊厳、自立支援を重視した介護を行うために必要な専門知識の習得をはかれたか	3.00	
4		対外活動や地域交流への積極的な参加を促し、自ら学び、行動できる態度を育てることができたか	2.78	・生徒同士での地域交流はできなかったが、教員が出前授業を行うことで、連携自体は実施できた。
5		資格取得のために必要な介護技術の向上を図れたか	3.00	
6		基本的介護理論を理解し、個に対応した実践的な能力を育てることができたか	2.88	
7		実習先との連携・情報共有を図り、円滑な実習展開に努めていたか連携を通し、実習内容の充実を図ることができたか	2.67	
8		社会生活に必要なマナーを学び、将来の職業観を養うことができたか	3.00	
9		介護福祉士国家試験合格に向けて、意欲的に取り組ませることができたか	3.00	・やる気が少ない生徒や理解ができている生徒の温度差が激しい。
10	福祉教科の情報共有、福祉教育や授業内容の検討を行うことができたか	2.75	・他科目の授業内容を共有する機会があっても良かったと思います	
11	資格取得に対応できる適切な養成校の運営を行うことができたか	3.00	・大幅な改善が必要。 ・不備が多く見つかり、書類等大幅な見直しが必要。	

寮務	1	日課表に基づいた規則正しい生活習慣の確立を促すことができたか	2.90	・時間にルーズな生徒が多く、規則を守れていない状況であった。
	2	寮長・副寮長を中心とした役割分担や、各自の係活動の責任を持たせるとともに活性化を促すことができたか	2.78	・年次を超えたかかわりが希薄になりつつあり、上級生からの指導が行き届いていなかった。
	3	食事・帰省・外出・外泊等の諸手続きに責任と自覚を持たせることができたか	2.40	・一部の生徒で責任と自覚を持たせることができなかった。 ・無断帰省。動静の変更が多々あり。土日であるため、教員が月曜日、引継簿で知ることが多かった。
	4	個に応じた指導を強化し、基本的な生活習慣の態度を育成させることができたか	2.70	・個に応じた指導までには至らなかった。
	5	生活相談の実施や定期的な面談（自己目標）を通して自己理解・他者理解を深めることができたか	2.70	・定期的な面談は実施できなかった。
	6	各種行事運営による人間関係の構築を促すことができたか	2.67	・行事の中止に伴い、関わり合いが希薄になってしまった。
	7	定期的に寮生活の状況を教職員に伝え、情報共有を図ることができていたか	3.30	・舎監に入っていない日の寮生の様子についても共有されたことで担任クラスの生徒がどのように過ごしているのか知り、学校生活での指導に役立てることができた。
	8	各部屋のコマメな清掃・点検を行い、よりよい生活環境を整えることができたか	2.80	・月1最終週の火曜日に水回りの清掃を行う予定だったが、実施できない時期もあり、汚さが目立っていた。大掃除の際に2時間かかるくらいの汚さとなってしまった。教員の手がないとうまく清掃ができないのが現在の生徒であることが分かった。
	9	寮の設備や整理整頓の徹底を図り、安らぎの場を確保することができたか	2.90	
	10	食事の充実や消耗品・備品の補充等を適切に行うことができていたか	3.20	
	11	避難訓練等を通して、非常時の心構えを養うとともに、日頃からの安全な寮生活の確保に努めることができたか	3.10	
	12	定期的に寮通信を発行と保護者への郵送を行い、寮生活の様子をブログなどで情報発信することができたか	2.67	・ブログの発信までにはいたっていない。
	13	学習意欲の向上を促す指導・助言に努めることができたか	3.00	・学習課題の設定。
	14	学習課題の設定による、学習習慣の確立を目指すことができたか	2.90	・各舎監によって基準が統一されず、生徒の認識がまちまちであったと感じる。
	15	考査期間中の学習環境を整備することができたか	3.10	
剣友会	1	年次や部活動の集団活動を通して、自分を見つめ直し、自己実現に向かって人生を切り拓く力を身につけることができたか	3.18	
	2	各種大会等への「挑戦する心」を育て、お互いに協力し努力することから、生徒に達成感を体験させることができたか	2.91	・各種大会が中止となり、何を目標にしているかわからない状況。ただ運動したいだけの生徒などがおり、達成感を見出してあげることができていない状況。
	3	計画的な農業クラブ活動を通し、クラブ員個々に問題解決能力を身につけさせることができたか	2.82	・学校祭などでは、生徒全員が協力して取り組める企画があっても良かったと思います
	4	活動を通して、所属感や連帯感を高め、生徒一人ひとりが個性に応じた役割を見つけさせることができたか	3.00	
	5	三大農ク行事の指導を充実させ、年次間のつながりを通して、自己表現力やコミュニケーション能力を高めさせることができたか	3.00	
	6	他校との交流、連携を通して他者理解に努め、望ましい人間関係の形成に努めることができたか	2.78	・今年度は他校との交流・連携が難しい状況でした
	7	学校行事の計画や運営に参加させることで、生徒の自主性を養い、生徒相互の連帯感を高めさせることができたか	3.00	
	8	各行事の目的を達成するため事前指導を充実させ、士気の向上を図ることができたか	3.00	・行事の目的を生徒に考えさせるなど、各行事にどのような意味を持たせるのか明確にすると良かったと思います
	9	専門委員会の活動内容を精選し、充実した取り組みを実践することができたか	3.00	・農業クラブ推進委員会の役割をあてがうのが難しい。他に変わる委員会の立ち上げもしくは、委員会としてなくしても良いのではないかと思う。
	10	部活動の活性化と剣友会予算の適正な執行による環境整備を目指すことができたか	3.00	

保健安全	1	健康診断前後の措置が円滑に行われているか	2.91	
	2	救急体制が確立されているか	3.09	
	3	校舎内外は清潔に保たれているか	3.08	
	4	体育的行事の際の健康チェック等安全確保に配慮があるか	3.25	
学級年次経営	1	生徒同士、教師生徒間など円滑な学級・年次運営が行われているか	3.11	
	2	生徒についての情報が適切に共有されているか	3.18	
	3	HR運営について全教職員の共通理解のもと協力体制ができているか	2.90	
家庭地域との連携	1	目的が会員に理解され活発に活動がなされ、保護者、教職員が意欲的に参加されているか	3.09	
	2	協力体制は良好だったか	3.00	
	3	地域行事に積極的に参加しているか	2.45	
	4	学校と地域や関係機関との連携がうまく図られているか	3.00	

上記のいずれにも該当しない項目において意見があればお書きください。

1. 保護者へ周知する文書については、メール（小学校ではマメール実施）等で周知するほうが確実に情報はいきわたると思います。小学校は任意での登録となっています。本校は遠隔から来ている保護者もいるので、とくに遠隔の保護者には登録してもらい、情報を発信する方が良いと思います。紙媒体を生徒伝いで保護者に渡すよう伝えても、ほとんどはわたっていない状況です。
2. 定期考査については、実施しなくてもよいかと思います。今は観点別評価となっており、定期考査実施の重要度は低いと感じます。各科目内で定期的に、知識点等の評価をしていってよいと感じています。実施してもある一定の期間を定め、そこで各科目内で実施するなど弾力的な取り組みが必要だと考えます。
3. 部長主任会議の廃止。→職員会議一括で実施。時間の無駄をなくす。教頭先生の負荷の軽減。部長主任会議の中で話されている内容を他の先生方もしっいてもよいと感じる。などが理由です。

実施期間：令和3年2月17日（水）～2月26日（金）
 配布対象：学校運営審議委員 10名
 回答方法：4段階評価（4：十分 3：おおむね 2：不十分 1：まったく 空白：わからない）
 最も多い回答は濃い網掛けとなっている

1 学校教育目標について

4 3 2 1 無回答 平均

以下の本校教育目標が生徒の実態や保護者、地域の願いを踏まえたものとなっていると思いますか。

3	7	0	0	0	3.30
---	---	---	---	---	------

- 1 自ら学ぶ意欲を育み積極的に行動する力を育てる
- 2 責任感を養い、互いに助け合う心を育てる
- 3 心身を鍛え明るく豊かな人間性を育てる
- 4 勤労を尊び、郷土の発展につくす態度を育てる

2 本校の取り組みについて

A B C D 無回答 平均

(1) 総合学科として多様な教育課程・授業が準備されている。	1	8	1	0	0	3.00
(2) 農業、福祉の専門教育が充実しており、子ども達の将来にとってとても有意義である	6	3	1	0	0	3.50
(3) 学校行事などで、地域連携が盛んに行われ、それが教育活動により結果を与えている	3	7	0	0	0	3.30
(4) 生徒会・農業クラブ活動が盛んであり、生徒が主体的に取り組んでいる	3	6	0	0	0	3.33
(5) 交通安全指導、性に関する教室、薬物乱用防止教室等保健安全指導が適切に行われている	1	8	0	0	0	3.11
(6) 部活動は充実している	2	5	3	0	0	2.90
(7) 資格取得に関する指導が充実している	3	6	1	0	0	3.20
(8) 2年次生、3年次生での委託実習は有意義である ※コロナの対応で、農業国際系列について、校外での実習を実施しておりません。生活福祉系列については、校外での実習期間を短縮して実施しました。	5	5	0	0	0	3.50
(9) 原付バイクの免許取得許可は今後も継続させるべきである	5	3	0	0	0	3.63
(10) 先生方は一人ひとりに対応した細やかな生活指導を行っている	2	6	0	0	0	3.25
(11) 学校と家庭との連携が十分に効果的になされている	2	6	0	0	0	3.25
(12) 「剣高だより」やホームページは学校活動を理解するのに有効である	8	2	0	0	0	3.80
(13) 授業評価を通して、授業での教え方の工夫や授業改善が行われている。	2	7	0	0	0	3.22

(14) 学校の施設設備が充実している	2	6	2	0	0	3.00
(15) 職業説明会や講演会など1年次生から系統立てた進路指導が展開されている	3	6	0	0	0	3.33
(16) 基礎基本の学力向上に力を入れている	2	7	0	0	0	3.22
(17) 進路に関する情報の提供など進路指導が充実している	2	7	0	0	0	3.22

3 記述欄

(1) **学校は人の生き方について考えたり豊かな心を育んだりしていると思いますか。**

・思う。
 ・もう少し、多様な住民との接点があれば良いと思う。
 ・校風、先生、同級生など、人生の糧になることがたくさんあると思います。
 ・コロナ禍で大変ではありますが、生徒の皆さんの心に寄り添った指導をされていたと思います。

(2) **生徒募集について、ご意見をお聞かせください**

・できる事をやっているといます。今までと違う目線から募集方法もあっても良いと思う。(アイデアは、今はないが…)
 ・地域の先輩、卒業生等の地域での活躍をアピール。大々的にしては？(今よりも)
 ・SNSの利用は、どうだろう。他の農業高校も利用しています。
 ・普通科が出来て、多少変わるか？
 ・保育所に収穫物を届けて、一緒に食事。
 ・小中学校は、体験出来る作業を一緒にして高校の良さを知ってもらおう。
 ・第3系列を開設することで、志望する生徒が増えたと思います。

(3) **その他、ご意見・ご感想がありましたら、お書き下さい。**

・いつでも協力したいと考えております。
 ・集団行動、対外活動の制約のある中で学校生活を充実させるのは大変かと思いますが、頑張っ乗り越えていただきたい。
 ・コロナ対応などで生徒の学校行事が出来ない等、大変な1年、本当にご苦労様でした。
 ・私も、剣淵高校の卒業生なので手伝える事があれば参加したい。
 ・コロナ禍で教育活動に制限はありましたが、できることを実施していたと思います。
 ・小中学校と比べると、感染症対策にゆるい面があると思います。(ソーシャルディスタンス等)